

2026年6月15日

第4回 日本維新の会 港湾議員連盟総会  
～我が国の造船・港湾の国際競争力確保に向けた要望について説明～

一般社団法人日本船主協会

令和8年6月15日、衆議院内会議室において、第4回 日本維新の会「港湾議員連盟総会」が開催され、本総会には国会議員10名および当協会を含む全5団体が出席した。(連盟役員：井上英孝会長、馬場伸幸顧問、松沢成文副会長、阿部圭史事務局長)

冒頭に井上会長より開会の挨拶があり、続いて黒田事務局長代理の進行のもと、出席した各団体(当協会のほか、日本造船工業会、日本港湾協会、港湾運営会社連絡協議会、日本海上起重技術協会)より要望事項の説明が行われた。

当協会からは篠原理事長が出席し、我が国海運事業者による安定的な国際海上輸送確保に向けた支援として、ペルシャ湾内に留め置かれている船舶・船員の安全な出域に向けた支援、令和9年度税制改正要望、トン数標準税制の拡充強化、日本籍船の改善、我が国造船業の再生について等について要望を行った。

各団体からの説明後、参加議員からは港湾・造船に関する質問が寄せられた。特に「世界の主要港湾に劣後しないための施策」や「日本の造船再生に向けた取組み」に関して、活発な質疑応答等が行われた。



井上会長による開会の挨拶

結びに、井上会長より「何をするにしても、まずは予算をしっかりと確保することが肝要である」とのご発言とともに、施策の成果を検証していくことの重要性が強調されて閉会となった。

当協会は、我が国海運業界が持続可能な運航を実現出来るよう、今後も関係方面に対して働きかけを行っていく。



要望説明する篠原理事長



馬場顧問閉会の挨拶